



産業廃棄物処理計画書

令和5年6月13日

静岡市長

殿

報告者

住 所 静岡県静岡市清水区駒越北町13番1号

氏 名 株式会社ノダ 清水事業所

所 長 海 野 晃

電話番号

054-334-5111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社ノダ 清水事業所
事業場の所在地	静岡県静岡市清水区駒越北町13番1号
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	繊維板製造業
②事業の規模	令和4年度出荷額：151億円
③従業員数	420名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	繊維板製造及び建材製造： 木屑→ボイラー燃料として再資源化 廃プラスチック→外部委託業者が燃料として再資源化 混合物→最終処分業者に委託し埋立処分



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

- ・ 清水事業所長（統括責任者）
 - ・ 清水保全エネルギーセンター所長（産業廃棄物管理責任者）
 - ・ 電気グループ主任（特別管理産業廃棄物管理責任者）
 - ・ 総務課長
 - ・ 資材課長
 - ・ 製造課長
 - ・ 清水保全エネルギーセンター副所長

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	煤塵
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	別紙 1		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	煤塵
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	別紙 1		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	別紙 1
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	別紙 1

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分をう 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量		
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙 2		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量		
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	別紙 2		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業場に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「－」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の種類	①現 状 【前年度（令和４年度）実績】		②計 画 【目標】	
	排出量 (t)	これまでに実施した取組	排出量 (t)	今後実施する予定の取組
燃え殻	1159.65	熱効率を上げ、燃料を削減する	1136.46	継続
廃油	39.47	特になし	38.68	特になし
汚泥	0.16	特になし	0.157	特になし
廃プラスチック	59.22	設備改善により発生を抑制する	58.04	ＱＣ工程表を活用し廃棄量を削減する
木屑	0.00	木屑炊きボイラーでの燃料とする	0.00	継続
ガラス屑 ・陶磁器屑	0.60	特になし	0.588	特になし
水銀使用製品 産業廃棄物	0.0	特になし	0.0	特になし
がれき類	0.0	設備改善時の発生量を削減する	0.0	継続
煤塵	409.92	熱効率を上げ、燃料を削減する	401.72	継続
安定型混合廃棄物	37.96	分別により発生量を削減する	37.20	継続
下水汚泥	10.00	特になし	9.80	特になし
建設混合廃棄物	0.0	分別により発生量を削減する	0.0	継続
石綿含有 産業廃棄物	0.0	特になし	0.0	特になし
接着剤	0.03	特になし	0.03	特になし
廃蛍光灯	0.15	特になし	0.147	特になし
	1717.16		1682.82	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現 状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ がれき類、廃プラスチック、鉄屑、ガラス類、混合廃棄物は分別保管している
②計 画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 上記取組を今後も継続する

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現 状	【前年度（令和4年度）実績】										
	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃油	廃プラスチック	ガラス屑・陶磁器屑	煤塵	安定型混合廃棄物	下水汚泥	汚泥	引火性廃油（接着剤）	廃蛍光灯
	全処理委託量	1159.65	39.47	59.22	0.60	409.92	37.96	10.00	0.16	0.03	0.15
	優良認定業者への 処理委託量										
	再生利用業者への 処理委託量			55.72							
	認定熱回収業者への 処理委託量										
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量										
（これまでに実施した取組）											
・可能な限り、再利用業者に委託し、最終処分量の低減を図る											

② 計 画	【目標】										
	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃油	廃プラスチック	ガラス屑・陶磁器屑	煤塵	安定型混合廃棄物	下水汚泥	汚泥	引火性廃油（接着剤）	廃蛍光灯
	全処理委託量	1136.457	38.681	58.036	0.588	401.722	37.201	9.800	0.157	0.029	0.147
	優良認定業者への 処理委託量										
	再生利用業者への 処理委託量			54.61							
	認定熱回収業者への 処理委託量										
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量										
	（今後実施する予定の取組） ・可能な限り、再利用業者に委託し、最終処分量の低減を図る（継続）										
※事務処理欄											